

10款 教育費 1項 教育総務費

(単位:千円)

学習支援員等配置事業(事務局総務費)					学校教育課
総 額	財 源 内 訳				
	国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
10,707	8,542	2,128			37
【施策の目的】 新型コロナウイルス感染症の拡大防止対策を講じながら、最大限子どもたちの学びを保障するため、各小・中学校に学習支援員及びスクール・サポート・スタッフを配置し、人的体制の強化を図るもの。					
【国庫支出金の内訳】 地方創生臨時交付金 8,542千円					
【施策の実施】 小・中学校に教室等の消毒や児童生徒の健康管理の支援を行うスクール・サポート・スタッフ及び学習定着度に応じたチーム・ティーチングや学級担任の補助、個別指導支援等を行う学習支援員を配置し、新型コロナウイルス感染症対策を確実に実施しながら、教育活動を継続するための人的支援を行った。					
【施策額の内訳】					
	区分	配置校数	配置人員	実績額	
	学習支援員	13校	21人	7,499千円	
	スクール・サポート・スタッフ	13校	14人	3,208千円	
【施策の評価】 新型コロナウイルス感染症対策を講じ、学校における教育活動を継続していく上で必要となる学習支援員及びスクール・サポート・スタッフ等の人的支援を実施することにより、小・中学校全校で教職員の負担軽減を図ることができた。 今後は、新型コロナウイルス感染症が5類へ移行したことに伴い、スクール・サポート・スタッフの人的体制を段階的に縮小していくとともに、教職員の負担軽減を図るため、学習支援員の人的体制は継続し、学校教育活動の充実を図っていく。					
教育相談事業(教育相談推進費)					学校教育課
総 額	財 源 内 訳				
	国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
2,396	923				1,473
【施策の目的】 児童生徒の不登校をはじめとする相談に対応するため、スクールカウンセラー及びスクールソーシャルワーカーを配置する。					
【国庫支出金の内訳】 地方創生臨時交付金 923千円					
【施策の実施】 ・スクールカウンセラー2名 小郡市教育センター及び三国小学校に配置し、必要に応じて学校へ派遣 ・スクールソーシャルワーカー2名 小郡市教育センターに配置し、各小・中学校を定期的に巡回する ・新型コロナウイルス感染症による児童生徒等への心のケアを行うため相談体制の拡充(スクールカウンセラー8名の派遣)					
【施策額の内訳】 ・相談員謝金(スクールカウンセラー及びスクールソーシャルワーカー) 2,160千円 (うち新型コロナウイルス感染症対策分:845千円) ・費用弁償(スクールカウンセラー及びスクールソーシャルワーカー) 130千円 (うち新型コロナウイルス感染症対策分:78千円) ・通信運搬費(スクールソーシャルワーカー) 106千円 (・報酬手当(スクールソーシャルワーカー) 5,716千円 :人事法制課所管分)					
【施策の評価】 令和4年度のスクールカウンセラー対応件数は498件、スクールソーシャルワーカーの対応件数は945件となっており、いじめ・不登校の解消や厳しい家庭環境にある子どもへの支援を継続するとともに、新型コロナウイルス感染症による児童生徒・保護者等の心のケアを実施することができた。スクールソーシャルワーカーにおいては、令和4年度から、派遣型から巡回型へ変更することで、きめ細かい対応を実施でき、前年度より361件も件数が増加した。 今後もスクールカウンセラーやスクールソーシャルワーカーを複数配置し、関係機関と連携しつつ、学校が活用しやすい体制を整えながら児童生徒が抱える様々な課題の早期発見・早期解決につなげる取組を継続していく。					

小規模校魅力化推進事業(教育振興総務費)					学校教育課
総 額	財 源 内 訳				一般財源
	国庫支出金	県支出金	地方債	その他	
451				451	
<p>【施策の目的】 児童生徒数が減少する中、小規模校の特色を生かした魅力ある学校づくりを進めるとともに、小規模校の活性化、ひいては小郡市の学校教育の活性化を図ることを目的とする。</p> <p>【施策の実施】 立石小(5・6年)の児童を対象にオンライン英会話による授業を実施</p> <p>【施策額の内訳】 オンライン英会話委託料(延べ263名受講) 451千円</p> <p>【施策の評価】 立石小学校において、自身のタブレット端末を使用し、7回実施することができた。小学生が生徒の英語に触れる学習を通じて、外国語学習への関心・意欲を高めることができた。今後も、オンライン英会話による学習効果を検証しながら、魅力ある学校づくりを進めていく。</p>					
教育振興総務費					学校教育課
総 額	財 源 内 訳				一般財源
	国庫支出金	県支出金	地方債	その他	
3,021				3,021	
<p>【施策の目的】 児童がプログラミングを体験しながら、コンピューターに意図した処理を行わせ、ロボットを動かすことで、論理的思考力を身につけることを目的とする。</p> <p>【施策の実施】 市立小学校8校(5年)の児童を対象にロボットを活用したプログラミング授業を実施</p> <p>【施策額の内訳】 プログラミング授業支援委託料(市立小学校全8校5年生受講) 3,021千円</p> <p>【施策の評価】 市立小学校8校において実施することができた。感染症対策を行いながら学校と連携し、2人1組の児童が自身のタブレット端末を操作することで、プログラミングを通じ、論理的思考を高めることができた。今後も、プログラミング授業による学習効果を検証し、ICT教育を進めていく。</p>					
GIGAスクール構想事業					学校教育課
総 額	財 源 内 訳				一般財源
	国庫支出金	県支出金	地方債	その他	
18,269				18,269	
<p>【施策の目的】 文部科学省が提唱するGIGAスクール構想に基づいた、ICTを活用した授業や学習を実施できる環境が整ったことに伴い、児童生徒及び教職員のICT機器活用をサポートすることにより、主体的に生きる力を育む児童生徒の育成を図る。</p> <p>【施策の実施】 小・中学校13校に4名のICT支援員を巡回で派遣し児童生徒及び教職員にICT機器の活用支援を行った。</p> <p>【施策額の内訳】 ICT支援業務委託料 18,269千円</p> <p>【施策の評価】 新学習指導要領において学習の基盤となる資質・能力と位置付けられている「情報活用能力」を児童生徒に育むとともに、ICT機器を正しく効果的に活用して、課題解決を図ることができた。今後もサポートを継続し、GIGAスクール構想に基づいた主体的に生きる力を育む児童生徒の育成を図っていく。</p>					

GIGAスクール構想事業

教育総務課

総 額	財 源 内 訳				
	国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
23,721	13,395				10,326

【施策の目的】

1人1台端末と高速大容量の通信ネットワークを一体的に整備することで特別な支援を必要とする子どもを含め、多様な子どもたちを誰一人取り残すことなく、公正に個別最適化され、資質・能力が一層確実に育成できる教育ICT環境を実現すること。

【国庫支出金】

地方創生臨時交付金 10,808千円
 公立学校情報機器整備費補助金 2,587千円 (R3→R4繰越金)

【施策の実施・内訳】

単位:千円

施策	内訳	金額	国庫支出金	一般財源
高速大容量通信ネットワークの追加整備	体育館(小学校:8校・中学校:5校)	10,534	10,534	
タブレットPCの追加整備(50台)	教師用:20台 児童生徒用:30台	2,199	274	1,925
ネットワーク運用保守	小学校:8校・中学校:5校	2,574		2,574
消耗品費	-	78		78
修繕料	タブレット端末修繕	1,724		1,724
通信運搬費	回線強化学校分(小学校:5校・中学校:3校)	528		528
補償金(授業目的公衆送信補償金)	小学校:3,473人・中学校:1,677人	762		762
施策(繰越明許費)	内訳	金額	国庫支出金	一般財源
大型提示装置(41台)	小学校:8校・中学校:5校	5,322	2,587	2,735
合計		23,721	13,395	10,326

【施策の評価】

- ①前年度との比較や進捗状況:不足していた非常勤講師等へタブレット端末の整備(20台)を行うとともにアクセスポイントを拡充し、タブレット授業の活用の推進を図ることができた。
- ②課題や施策を進めるうえでの留意点等:増加する機器、アカウントの管理を適正に行うことができる体制の確立、不具合や故障に対する対応、機器の更新に関する予算確保が課題。
- ③今後の見通し点や方針等:今後GIGAスクール構想事業を円滑に進め継続していくために、定期的なルール、体制の見直しを行う。更新を見据えた機器の更新計画を立てていく必要がある。更新に係る補助金等の予算措置について国の動向を注視し情報収集に努める。

学び場支援事業

人権・同和教育課

総 額	財 源 内 訳				
	国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
5,966	14	2,858			3,094

【施策の目的】

生き生きとした子どもたちの姿を大切に、子どもたちの将来の進路保障につながる「生きる力」として、基礎基本の学力と自学自習の力を身につけることを目的とする。

【国庫支出金の内訳】

地方創生臨時交付金 14千円

【施策の実施】

参加者(前・後期) 小郡小85名・御原小70名・味坂小57名・大原小24名・東野小67名・立石小37名
 三国小33名・のぞみが丘小28名 小学校計401名
 小郡中236名・宝城中111名・大原中197名・立石中160名・三国中246名 中学校計950名
 土曜チューター602名 合計1,953名

開催日 小学校(BBクラブ)週2回
 中学校(チューター)学校により学校内にて週1~2回・考査前・長期休業中
 土曜チューター・市内施設にて土曜に実施

指導者 教職員25名・小学校(サポーター37名、コーディネーター4名) 中学校チューター21名

【施策額の内訳】

内 訳	金額(千円)	備 考
協力者謝金	5,284	800円×5276.5h、1,000円×1062.5h
消耗品費	621	テキスト、用紙、インク等
役務費	59	事務局電話料、損害保険料
食糧費	2	講師飲料水代
計	5,966	

【施策の評価】

「BBクラブ」は、各小学校を会場に週2回実施し、401名の児童が参加した。「チューター」は、各中学校を会場に補充学習を行い、950名の生徒が参加した。「土曜チューター」は、毎週土曜日と夏季休業中に人権教育啓発センターと各校区コミュニティセンターを学習の場として開設し、602名の児童・生徒が参加した。いずれも参加者は昨年度より増加している一方、スタッフの数は減少しており、スタッフ一人ひとりの負担が大きくなっている。BBクラブやチューターでは、「基礎基本」の学習をする姿が見られ、「自学自習」の力も育まれている。多くの児童・生徒から「勉強が分かるようになった」「異学年の子ども遊んだり話すようになった」「進んで勉強するようになった」など学ぶ意義や友だちと学び合う喜びを実感する声が寄せられ、「仲間づくり」を通して進路・学力保障がなされている。

啓発冊子作成事業

人権・同和教育課

総 額	財 源 内 訳				
	国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
629		313			316

【施策の目的】

人権問題に関する啓発冊子を作成し、閲覧することで、人権尊重の理念を普及し、理解を深めることを目的とする。

【施策の実施】

- ・啓発冊子「差別をなくすために」第46集(24,000部)を作成し、各家庭に配布
- ・「人権作文・詩・標語・ポスター集」(700部)を作成
人権週間にちなんで、各保育園(所)、幼稚園、小中学校から募集した作品を学校等での教材として活用

【施策額の内訳】

内 訳	金額(千円)	備 考
印刷製本費	629	差別をなくすために 444千円 人権作文・詩・標語・ポスター集 185千円
計	629	

【施策の評価】

啓発冊子は「小郡市の同和教育の歩み」をテーマに、これまで小郡市が取り組んできたことを市民に伝え、ともに学ぶことを目的に作成し、市内全戸配布を行うことで、啓発を行うことができた。人権作文・詩・標語・ポスター集に掲載する作品については、複数箇所に掲示することで多くの方に見てもらい、作品を通して人権問題への関心と理解を深める事ができた。引き続き、啓発冊子のテーマをより身近なものにしたり、関係機関と連携し人権作品の掲示場所を拡充するなど、周知方法の検討を行っていく。

同和問題市民講演会開催事業

人権・同和教育課

総 額	財 源 内 訳				
	国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
222		100			122

【施策の目的】

市民を対象に講演会を開催し、同和問題をはじめとするあらゆる差別を解消することを目的とする。

【施策の実施】

- 開催日 7月9日(土)
講 師 河野潤一郎さん(西日本新聞社記者)
演 題 「差別と向きあって～取材から見えた人権問題～」
参加者数 354名

【施策額の内訳】

内 訳	金額(千円)	備 考
講師謝金	100	
協力者謝金	39	手話奉仕員、要約筆記
費用弁償	1	講師旅費
需用費	77	消耗品、ポスター・チラシ印刷、食糧費
委託費	5	託児委託料
計	222	

【施策の評価】

新聞記者として差別事件や水俣問題の取材で経験し学んだことを通して、「人権が守られることの大切さ」を学ぶ機会となった。また、ゲスト講師として同じく西日本新聞記者の山口新太郎さんから「インターネット上にまん延する部落差別」について話していただき、ネット上で起こっている差別の実態について、広く市民に啓発することができた。

市民啓発事業

人権・同和教育課

総額	財源内訳				
	国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
369		174			195

【施策の目的】

同和問題をはじめ「小郡市人権教育・啓発基本計画」にうたわれている8つの分野(同和問題・男女共同参画・子ども・高齢者・障がい者・外国人・様々な差別・インターネットを使用した人権侵害)をもとに、小中学校の保護者や地域に対して啓発講座を開催し、あらゆる人権問題の解決を図ることを目的とする。

【施策の実施】

- ・不登校を考える学習会:6月4日「親子の絆から不登校を考える」(51名)
10月15日「不登校支援の輪を広げよう」(44名)
1月28日「子どもに寄り添う伴走型支援～ソーシャルワークの視点から～」(56名)
- ・七夕人権考座:9月20日「困らせる子どもは困っている子ども～支援は始縁～」(48名)
10月18日「いのちの平等な尊厳の実現をめざして」(49名)
2月4日「人生走快～走り続けること、人と向き合うこと～」(46名)
2月21日「性の多様性から『じぶん』について考える
～誰もが排除されない社会をめざして 子どもたちとの出会いからみえてきたこと～」(83名)
3月14日「思いやりで人権課題は解決しない」(80名)
- ・保護者啓発:小中学校の人権・同和問題の保護者啓発において、講話を行ったり、講師の派遣(9回)を行った。

【施策額の内訳】

内訳	金額(千円)	備考
講師謝金	334	
協力者謝金	34	手話奉仕員
食糧費	1	講師飲料水代
計	369	

【施策の評価】

第2次小郡市人権教育・啓発基本計画の内容に沿ったテーマを基本に、様々な視点からの人権問題について講座を計画し、開催した。また、保護者啓発については、昨年度よりも多くの学校で、子どもの人権や生命の授業を通して啓発を行うことができた。不登校を考える学習会については、不登校の子どもたちをまわりの大人がどのように見守ればいいのかといった視点を大切にして学習会を3回開催した。参加者が固定化しているのも、より多くの市民が参加できるように、開催方法や時期、場所等を工夫していく。

人権のまちづくり事業

人権・同和教育課

総額	財源内訳				
	国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
354		113			241

【施策の目的】

各中学校区を単位として人権のまちづくり組織を立ち上げ、活動を展開し、人権が尊重される地域社会を実現することを目的とする。

【施策の実施】

各中学校区単位で、まちづくりだよりの発行など、地域に合った取り組みが実施されている。

【施策額の内訳】

内訳	金額(千円)	備考
講師謝金	193	
協力者謝金	34	手話奉仕員、要約筆記
消耗品費	125	用紙、インク等
食糧費	2	講師飲料水代等
計	354	

【施策の評価】

中学校区を核にして、地域の様々な団体等が連携することにより、幅広い人権課題の解決の一役を担っている。新型コロナウイルス感染症の影響により、総会は開催できなかったが、交流会やフェスタ等は開催することができた。また、まちづくりだよりの発行や人権フェスタ等を通して、子どもを中心とした人権のまちづくりに取り組み、人権啓発を推進することができた。

10款 教育費 2項 小学校費

(単位:千円)

市教育委員会研究指定委嘱校補助・小学校(教育振興総務費)					学校教育課						
総 額	財 源 内 訳				一般財源						
	国庫支出金	県支出金	地方債	その他							
350					350						
<p>【施策の目的】 研究指定校 ○東野小学校 R3～R4</p> <p>【施策の実施】 ○東野小学校 研究主題「わかった」「できた」が実感できる子どもを育てる算数科学習指導 ～モデルを活かした表現活動を通して～</p> <p>【施策額の内訳】 ○東野小学校(第2年次) 350千円</p> <p>【施策の評価】 研究指定委嘱を通じて教育課題解決に向けた具体的な手法をICTを活用しながら実践的に研究し、その成果を発表することで、学校間における研究成果の共有を図ることができた。 今後も小郡市の学校教育の充実・改善を図っていく。</p>											
児童通学費補助事業(小学校一般管理費)					教育総務課						
総 額	財 源 内 訳				一般財源						
	国庫支出金	県支出金	地方債	その他							
984					984						
<p>【施策の目的】 遠距離通学児童に対して、交通費の補助を行う。</p> <p>【施策の実施】 西鉄電車 通学定期1区間分の補助 11か月分 三國小 対象者 78人 津古区、みくに野団地区、三国が丘1区(1年生～3年生)</p> <p>【施策額の内訳】</p> <table border="1"> <tr> <td></td> <td>対象人数</td> <td>補助額</td> </tr> <tr> <td>三國小</td> <td>78人</td> <td>984千円</td> </tr> </table> <p>【施策の評価】 ①前年度との比較や進捗状況:遠距離通学となる児童の交通機関利用に伴う保護者の経済的な負担を軽減するとともに、遠距離通学に伴う児童の心身の負担軽減を図ることができた。 ②課題や施策を進めるうえでの留意点等:地球温暖化に伴う、夏の暑さやタブレット端末持ち帰り活用に伴う荷物増加に対する対策を検討する必要がある。 ③今後の見通し点や方針等:制度の見直しを行う。</p>							対象人数	補助額	三國小	78人	984千円
	対象人数	補助額									
三國小	78人	984千円									
特別支援教育就学奨励費・小学校(特別支援教育費)					教育総務課						
総 額	財 源 内 訳				一般財源						
	国庫支出金	県支出金	地方債	その他							
4,279	2,146				2,133						
<p>【施策の目的】 小学校の特別支援学級への就学事情に鑑み、その就学に係る保護者等の経済的負担を軽減する。</p> <p>【施策の実施】 小学校対象児童数 131人</p> <p>【施策額の内訳】 特別支援教育就学奨励費 4,279千円</p> <p>【施策の評価】 特別支援学級に在籍する生徒を抱える保護者の就学に係る経済的負担を軽減することができた。 ①前年度との比較や進捗状況:令和4年度の認定者数は131名(前年度より19人増)であり、特別支援学級に在籍する生徒の45.2%が認定となっている。 ②課題や施策を進めるうえでの留意点等:在籍者数は年々増加傾向にある。 ③今後の見通し点や方針等:本事業の周知を図るため、就学時健康診断時にチラシ配布等を行い、就学に係る保護者等の経済的負担の軽減を図っていく。</p>											

就学援助・小学校(就学援助費) 教育総務課

総額	財源内訳				
	国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
50,173	27			7,573	42,573

【施策の目的】
 経済的理由によって就学困難な児童に対し、必要な援助を与え義務教育の円滑な実施を図ることを目的とする。

【国庫支出金の内訳】
 要保護児童生徒援助費補助金 27千円

【その他の内訳】
 まちづくり支援基金 7,073千円
 企業版ふるさと納税寄付金 500千円

【施策の実施】
 小学校対象児童数 598人

【施策額の内訳】

入学準備金	4,561千円	医療費	345千円
学用品費	8,987千円	修学旅行費	2,026千円
給食費	27,162千円	校外活動費	19千円
オンライン学習通信費	7,073千円		
計	50,173千円		

【施策の評価】
 経済的理由により就学困難な児童に対して、必要な援助をすることで、就学に係る経済的な負担を軽減することができた。
 ①課題や施策を進めるうえでの留意点等:令和4年度の認定者数は598人(前年度の21人減)であり、児童生徒数(5月1日時点)の17.3%となる。認定者の割合は横ばいの状態である。
 ②前年度との比較や進捗状況:令和5年度の新入学者に対し、入学準備金の入学前支給を実施し、入学に係る経済的な負担の軽減を図ることができた。
 ③今後の見通し点や方針等:就学時健康診断時等にチラシ配布を行い、本事業の周知を図り、経済的理由により就学困難となる児童が出ないように、必要な経済的な援助を行っていく。

小郡小学校改修事業 教育総務課

総額	財源内訳				
	国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
9,563			7,100		2,463

【施策の目的】
 学級数の増加に伴う教室の不足分を確保するため、パソコン教室を改修し、特別支援学級の教室を3教室確保する。

【施策の実施】
 ○教室改修工事
 パソコン教室改修
 間仕切り壁新設 3か所、スクールパーテーション新設 2か所、床・天井仕上げ改修、照明器具改修
 ○空調更新工事
 既設空調機撤去 2台、空調機新設 3台

【施策の内訳】
 工事請負費 9,563千円

【施策の評価】
 パソコン教室を改修し、特別支援学級の教室を3教室整備したことで、学級数の増加に伴う教室不足に対応することができた。
 ①前年度との比較や進捗状況:令和4年度の工事実施により、事業完了した。
 ②課題や施策を進めるうえでの留意点等:児童の学校生活に及ぼす影響を最小限にするため、夏休み期間中に工事を実施した。また、工事の実施時期や施工方法について、学校と十分協議しながら行った。
 ③今後の見通し点や方針等:学級数の推移を注視し、教室の配置等について随時学校と協議しながら、学校運営に支障がないよう必要な整備を行う。

御原小学校改修事業		教育総務課			
総額	財源内訳				
	国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
5,998			4,400		1,598
<p>【施策の目的】 老朽化しているプール周囲のフェンスを目かくしフェンスに改修し、周囲から見えないようにすることで、児童が安心して授業を受けることができる安全な教育環境を確保する。</p> <p>【施策の実施】 プールフェンス改修工事 既設フェンス撤去 L=110.4m、既設門扉撤去 1か所 目かくしフェンス(H=1500・1800)設置 L=108.3m、ネットフェンス(H=1500)設置 L=8.3m</p> <p>【施策の内訳】 工事請負費 5,998千円</p> <p>【施策の評価】 老朽化しているプール周囲のフェンスを目かくしフェンスに改修することにより、安全な教育環境を確保することができた。 ①前年度との比較や進捗状況:令和4年度の工事実施により、事業完了した。 ②課題や施策を進めるうえでの留意点等:工事の実施時期や実施方法について、学校と十分協議しながら行った。 ③今後の見通し点や方針等:今後も児童が安心して学校生活を送ることができるよう、必要な整備を行っていく。</p>					
立石小学校改修事業		教育総務課			
総額	財源内訳				
	国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
8,099			6,000		2,099
<p>【施策の目的】 老朽化した体育倉庫の改築を行い、安全な教育環境の確保を図る。</p> <p>【施策の実施】 既設体育倉庫解体 補強コンクリートブロック造2階建 A=46.20㎡ 体育倉庫新設 鉄骨造平屋建 A=54.65㎡</p> <p>【施策の内訳】 建築確認申請手数料 54千円 工事請負費 8,045千円</p> <p>【施策の評価】 老朽化した体育倉庫の改築により、安全な教育環境を確保することができた。 ①前年度との比較や進捗状況:令和4年度に工事を実施し、事業完了した。 ②課題や施策を進めるうえでの留意点等:工事の実施時期、実施方法等について、学校と十分協議しながら行った。 ③今後の見通し点や方針等:老朽化により危険な状態となっている箇所や使用に支障がある箇所等があれば、必要に応じて計画的に工事を行っていく。</p>					
三國小学校改修事業		教育総務課			
総額	財源内訳				
	国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
3,670			2,700		970
<p>【施策の目的】 学級数の増加に伴う教室の不足分を確保するため、パソコン教室を改修し、特別支援学級の教室を2教室確保する。</p> <p>【施策の実施】 パソコン教室改修 間仕切り壁新設 2か所、スクールパーテーション新設 1か所、床・天井仕上げ改修、照明器具改修</p> <p>【施策の内訳】 工事請負費 3,670千円</p>					

【施策の評価】

パソコン教室を改修し、特別支援学級の教室を2教室整備したことで、学級数の増加に伴う教室不足に対応することができた。

- ①前年度との比較や進捗状況: 令和4年度の工事実施により、事業完了した。
- ②課題や施策を進めるうえでの留意点等: 児童の学校生活に及ぼす影響を最小限にするため、夏休み期間中に工事を実施した。また、工事の実施時期や施工方法について、学校と十分協議しながら行った。
- ③今後の見通し点や方針等: 学級数の推移を注視し、教室の配置等について随時学校と協議しながら、学校運営に支障がないよう必要な整備を行う。

大原小学校改修事業

教育総務課

総 額	財 源 内 訳				
	国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
51,441			45,200		6,241

【施策の目的】

エレベーターの設置により、校舎のバリアフリー化を図る。また、老朽化しているプール周囲のフェンスを目かくしフェンスに改修し、周囲から見えないようにすることで、児童が安心して授業を受けることができる安全な教育環境を確保する。

【施策の実施】

- エレベーター設置工事
エレベーター棟増築 鉄骨造3階建 延床面積44.15㎡
エレベーター工事 積載量750kg 定員11名 停止箇所3か所(1～3階) 車いす対応
- プールフェンス改修工事
既設フェンス撤去 L=137.3m、既設門扉撤去 1か所
目かくしフェンス(H=1500・1800)設置 L=94.7m、ネットフェンス(H=1500)設置 L=44.1m、門扉設置 1か所

【施策の内訳】

- エレベーター設置工事
建築確認申請手数料 37千円 工事請負費 40,143千円
設計監理業務委託料 5,335千円
- プールフェンス改修工事
工事請負費 5,926千円

【施策の評価】

エレベーターを設置し、校舎のバリアフリー化を図ることができた。また、老朽化しているプール周囲のフェンスを目かくしフェンスに改修することにより、安全な教育環境を確保することができた。

- ①前年度との比較や進捗状況: 令和4年度に実施設計及び工事を実施し、事業完了した。
- ②課題や施策を進めるうえでの留意点等: エレベーター設置工事については、単年での設計施工であったこともあり、児童が学校に在りて工事を実施したため、安全対策や工程について、学校と密に打合せをしながら行った。
- ③今後の見通し点や方針等: 今後も児童が安心して学校生活を送ることができるよう、必要な整備を行っていく。

御原小学校校舎増築事業

教育総務課

総 額	財 源 内 訳				
	国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
6,898			4,800		2,098

【施策の目的】

今後の児童数増加に伴う学級数の増加に対応するため、校舎を5教室増築する。

【施策の実施】

- 校舎増築工事に伴う実施設計業務
鉄骨造2階建 延床面積614.14㎡
5教室、トイレ、昇降口、渡り廊下
既設屋外便所解体、既設校舎建具改修、外構工事

【施策の内訳】

- 建築確認申請手数料 386千円 設計業務委託料 6,512千円

【施策の評価】

令和4年度に校舎増築工事に伴う実施設計から工事の契約までを行った。工事については、予算を繰り越し、令和4年度から令和5年度にかけて行う。

- ①前年度との比較や進捗状況: 令和4年度に実施設計を実施し、令和4年度から令和5年度にかけて工事を行う。
- ②課題や施策を進めるうえでの留意点等: 増築校舎の設計をするにあたり、仕様や配置等について学校と十分に打合せをしながら行った。
- ③今後の見通し点や方針等: 令和4年度から令和5年度にかけて工事を行い、予定通り竣工できるよう、学校と協議しながら事業を進める。

新型コロナウイルス対応環境整備事業

教育総務課

総 額	財 源 内 訳				
	国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
7,526	7,526				

【施策の目的】

味坂小学校及びのぞみが丘小学校の老朽化している空調機の更新・増設を行うことにより、避難所としての機能確保を図るとともに、分散して授業を行う教室や、体調不良の児童の待機場所として使用できる教室を確保することにより、児童の感染防止を図る。

【国庫支出金の内訳】

地方創生臨時交付金 7,526千円

【施策の実施】

- 味坂小学校多目的ホール及び保健室空調更新
空調機撤去・新設 3台
- のぞみが丘小学校多目的ホール及び保健室空調更新、特別支援学級教室空調増設
空調機撤去・新設 3台、空調機増設 1台

【施策の内訳】

- 味坂小学校多目的ホール及び保健室空調更新
修繕料 1,265千円
- のぞみが丘小学校多目的ホール及び保健室空調更新、特別支援学級教室空調増設
工事請負費 6,261千円

【施策の評価】

地方創生臨時交付金を利用し、味坂小学校及びのぞみが丘小学校の老朽化している空調機の更新・増設を行うことにより、避難所としての機能確保及び児童の新型コロナウイルス感染防止を図り、安全で快適な教育環境を確保することができた。

- ①前年度との比較や進捗状況: 令和4年度の工事実施により、事業完了した。
- ②課題や施策を進めるうえでの留意点等: 工事の実施時期や実施方法について、学校と十分協議しながら行った。
- ③今後の見通し点や方針等: 今後も児童が安心して学校生活を送ることができるよう、必要な整備を行っていく。

10款 教育費 3項 中学校費

(単位:千円)

各種大会出場補助金(教育振興総務費)						学校教育課																
総 額	財 源 内 訳																					
	国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源																	
6,053					6,053																	
<p>【施策の目的】 中学校における体育・文化の振興と中学校生徒の健全な精神と身体の育成を図る。</p> <p>【施策の実施】 小郡市・三井郡以外の地域で開催される市郡大会や地区大会以上の体育・文化の各種大会出場補助金。大会の出場登録人数と引率者の交通費等を補助する。</p> <p>【施策額の内訳】</p> <table border="0"> <tr> <td>(1)地区大会</td> <td>927千円</td> <td>(5)市郡大会(うきは市開催分)</td> <td>1,718千円</td> </tr> <tr> <td>(2)県大会</td> <td>585千円</td> <td>※ブロック交流大会を含む。</td> <td></td> </tr> <tr> <td>(3)九州大会</td> <td>414千円</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>(4)全国大会</td> <td>315千円</td> <td>(6)文化部大会</td> <td>2,094千円</td> </tr> </table> <p>【施策の評価】 新型コロナウイルス感染症の影響がある中でも、中学校における部活動の各種大会の交通費等を補助することで、部活動への意欲的な参加を促進でき、部活動に係る保護者の経済的な負担も軽減することができた。今後も継続し、体育・文化の振興及び健全な精神と身体の育成を図っていく。</p>							(1)地区大会	927千円	(5)市郡大会(うきは市開催分)	1,718千円	(2)県大会	585千円	※ブロック交流大会を含む。		(3)九州大会	414千円			(4)全国大会	315千円	(6)文化部大会	2,094千円
(1)地区大会	927千円	(5)市郡大会(うきは市開催分)	1,718千円																			
(2)県大会	585千円	※ブロック交流大会を含む。																				
(3)九州大会	414千円																					
(4)全国大会	315千円	(6)文化部大会	2,094千円																			
市教育委員会研究指定委嘱校補助・中学校(教育振興総務費)						学校教育課																
総 額	財 源 内 訳																					
	国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源																	
150					150																	
<p>【施策の目的】 研究指定校 ○立石中学校 R4～R5</p> <p>【施策の実施】 ○立石中学校 研究主題「自分の考えをつくり、振り返ることができる生徒の育成」 ～発達段階を考慮した「書く活動」を通して～</p> <p>【施策額の内訳】 ○立石中学校(第1年次) 150千円</p> <p>【施策の評価】 令和4年度は研究を進め、令和5年度に研究成果を発表し、市内各校での共有を図っていく。 今後も新たな教育課題への対応が求められるため、研究指定委嘱を通じて教育課題解決に向けた具体的な手法を実践的に研究し、小郡市の学校教育の充実・改善を図っていく。</p>																						
特別支援教育就学奨励費・中学校(特別支援教育費)						教育総務課																
総 額	財 源 内 訳																					
	国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源																	
1,793	896				897																	
<p>【施策の目的】 中学校の特別支援学級への就学事情に鑑み、その就学に係る保護者等の経済的負担を軽減する。</p> <p>【施策の実施】 中学校対象生徒数 37人</p> <p>【施策額の内訳】 特別支援教育就学奨励費 1,793千円</p> <p>【施策の評価】 特別支援学級に在籍する生徒を抱える保護者の就学に係る経済的負担を軽減することができた。 ①前年度との比較や進捗状況:令和4年度の認定者数は37名(前年度より5人増)であり、特別支援学級に在籍する生徒の37.0%が認定となっている。 ②課題や施策を進めるうえでの留意点等:在籍者数は年々増加傾向にある。 ③今後の見通し点や方針等:制度の周知に努め、就学に係る保護者等の経済的負担の軽減を図っていく。</p>																						

就学援助・中学校(就学援助費)		教育総務課			
総額	財源内訳				
	国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
40,097	27			4,320	35,750
【施策の目的】 経済的理由によって就学困難な生徒に対し、必要な援助を与え義務教育の円滑な実施を図ることを目的とする。					
【国庫支出金の内訳】 要保護児童生徒援助費補助金 27千円					
【その他の内訳】 まちづくり支援基金 3,820千円 企業版ふるさと納税寄付金 500千円					
【施策の実施】 中学校対象生徒数 321人					
【施策額の内訳】					
入学準備金	6,792千円		医療費	536千円	
学用品費	8,472千円		修学旅行費	3,827千円	
給食費	16,646千円		校外活動費	0千円	
オンライン学習通信費	3,824千円				
計				40,097千円	
【施策の評価】 経済的理由により就学困難な生徒に対して、必要な援助をすることで、就学に係る経済的な負担を軽減することができた。 ①前年度との比較や進捗状況:今年度の認定者数は321人(前年度の7人増)であり、児童生徒数(5月1日時点)の19.1%となる。認定者の割合は微増傾向にある。 ②課題や施策を進めるうえでの留意点等:次年度の新入学者に対し、入学準備金の入学前支給を実施し、入学に係る経済的な負担の軽減を図ることができた。 ③今後の見通し点や方針等:本事業の周知に努め、経済的理由により就学困難となる生徒が出ないように、必要な経済的な援助を行っていく。					

宝城中学校改修事業		教育総務課			
総額	財源内訳				
	国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
3,520			2,600		920
【施策の目的】 老朽化しているプール周囲のフェンスを目かくしフェンスに改修し、周囲から見えないようにすることで、生徒が安心して授業を受けることができる安全な教育環境を確保する。					
【施策の実施】 プールフェンス改修工事 既設フェンス撤去 L=68.9m、既設門扉撤去 1か所 目かくしフェンス(H=1500)設置 L=68.1m、門扉設置 1か所					
【施策の内訳】 工事請負費 3,520千円					
【施策の評価】 老朽化しているプール周囲のフェンスを目かくしフェンスに改修することにより、安全な教育環境を確保することができた。 ①前年度との比較や進捗状況:令和4年度の工事実施により、事業完了した。 ②課題や施策を進めるうえでの留意点等:工事の実施時期や実施方法について、学校と十分協議しながら行った。 ③今後の見通し点や方針等:今後も児童が安心して学校生活を送ることができるよう、必要な整備を行っていく。					

小郡中学校大規模改造事業					教育総務課
総 額	財 源 内 訳				
	国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
6,160			4,600		1,560
<p>【施策の目的】 老朽化し使いづらくなった教室棟校舎の内外装・設備等を全面的に整備し、教育環境の改善を行うため、大規模改造工事を行う。</p> <p>【施策の実施】 教室棟大規模改造工事に伴う実施設計業務 教室棟1～3階(A=1,791㎡)内外装・設備全面改修</p> <p>【施策の内訳】 設計業務委託料 6,160千円</p> <p>【施策の評価】 教室棟大規模改造工事に伴う実施設計を行い、令和5年度工事に向けた準備が完了した。 ①前年度との比較や進捗状況: 令和4年度に実施設計を行い、令和5年度に工事を実施予定。 ②課題や施策を進めるうえでの留意点等: 夏休み期間中に内部工事を行う必要があるため、工事の工程について、学校と協議しながら十分に検討を行う必要がある。 ③今後の見通し点や方針等: 令和5年度に教室棟の工事を実施予定。また、教室棟の工事完了後は、管理棟の大規模改造工事を予定しており、実施設計を令和5年度に実施する。</p>					

10款 教育費 5項 幼稚園費

(単位:千円)

新型コロナウイルス感染症対策(臨時交付金事業)(公立幼稚園一般管理費)					保育所・幼稚園課												
総 額	財 源 内 訳																
	国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源												
907	688	219															
<p>【施策の目的】 公立幼稚園の継続的な保育を可能とするために新型コロナウイルス感染症対策に必要な環境整備を図る。</p> <p>【国庫支出金の内訳】 地方創生臨時交付金 688千円</p> <p>【施策の実施】 新型コロナウイルス感染症対策に必要な衛生管理用品等を購入し、継続的な保育を可能とするため、環境整備を実施した。</p> <p>【施策額の内訳】</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>区分</th> <th>金額</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>コロナ対策消耗品購入</td> <td>145 千円</td> </tr> <tr> <td>衛生管理にかかる時間外勤務手当</td> <td>293 千円</td> </tr> <tr> <td>衛生管理支援事業職員報酬</td> <td>463 千円</td> </tr> <tr> <td>費用弁償</td> <td>6 千円</td> </tr> <tr> <td>計</td> <td>907 千円</td> </tr> </tbody> </table> <p>【施策の評価】 新型コロナウイルス感染症の拡大防止に努める公立幼稚園に対し、衛生管理用品等の購入を支援した。今後も基本的な感染症対策を実施していく。</p>						区分	金額	コロナ対策消耗品購入	145 千円	衛生管理にかかる時間外勤務手当	293 千円	衛生管理支援事業職員報酬	463 千円	費用弁償	6 千円	計	907 千円
区分	金額																
コロナ対策消耗品購入	145 千円																
衛生管理にかかる時間外勤務手当	293 千円																
衛生管理支援事業職員報酬	463 千円																
費用弁償	6 千円																
計	907 千円																

10款 教育費 6項 社会教育費

(単位:千円)

コミュニティ推進事業		コミュニティ推進課			
総額	財源内訳				
	国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
7,914					7,914

【施策の目的】

市民主体のまちづくり及び生涯学習社会の実現に寄与するため、各校区コミュニティセンターにおいて講座の開催を行う。
また、地域コミュニティの活性化に寄与するため、地域住民にとって最も身近なコミュニティの場である自治公民館事業の推進と施設整備の助成を行う。

【施策の実施】

○コミュニティセンター主催講座

利用者のニーズに合わせ、各コミュニティセンターで主催講座を開催した。

内訳	報償費 (単位:円)	講座数	講座等回数(延べ) (単位:回)	参加者数(延べ) (単位:人)
味坂校区コミュニティセンター	39,900	4	21	230
御原校区コミュニティセンター	45,200	4	28	429
立石校区コミュニティセンター	43,700	7	30	478
三国校区コミュニティセンター	83,800	8	41	543
のぞみが丘校区コミュニティセンター	49,800	10	59	1,191
小郡校区コミュニティセンター	34,000	8	29	530
東野校区コミュニティセンター	44,400	7	59	1,132
大原校区コミュニティセンター	33,500	5	18	268
合計	374,300	53	285	4,801

○自治公民館連絡協議会

全自治公民館長によって構成され、自治公民館の運営や社会教育推進のための情報交換の場である自治公民館連絡協議会に対し、補助金を交付し財政支援を行った。

- ・自治公民館連絡協議会育成費補助金 5,126千円

○公民館類似施設建築費補助金

自治公民館の改修に対し、補助金を交付した。

内訳	金額 (単位:円)	備考
古賀区公民館	800,000	屋根葺替工事
緑区公民館	407,487	床張替工事
美鈴の社区公民館	536,100	屋根・外壁改修工事
古飯区公民館	376,266	屋根・外壁塗装工事
希みが丘区公民館	217,800	漏水補修・壁紙貼替工事
合計	2,337,653	

【施策額の内訳】

内訳	金額 (単位:円)	備考
報償費	374,300	コミュニティセンター主催講座講師謝金
需用費	19,625	コミュニティセンター主催講座食糧費
負担金	56,000	県公民館連合会負担金
補助金	7,463,653	公民館連絡協議会育成費補助金 公民館類似施設建築費補助金
合計	7,913,578	

【施策の評価】

令和4年度は、コロナ禍の収束も見据え、「集まって共に学ぶ」というニーズが増えてきたことへ対応すべく、感染防止対策を講じながら、昨年度以上に活動の幅を広げた講座を行った。それによって学びを通じての人づくり、地域づくりに寄与することができた。また、講座を通して様々な人々が交流することで地域コミュニティ形成の場となった。また、自治公民館改修に係る助成を行い、自治公民館活動の活性化や自主的な地域づくりの推進を図ることができた。

社会教育関連事業(家庭教育・青少年教育事業)					子ども育成課
総額	財源内訳				
	国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
111					111
【施策の目的】 ようこそ赤ちゃん教室での子育て講話、子どもの体験学習の実施により、家庭における教育支援や子どもたちの健全育成を図る。					
【施策の実施】					
	事業内訳	事業費	主な事業		参加者数等
	家庭教育事業	100千円	ようこそ赤ちゃん教室 子育て講話(6回)		74人(39組)
			アンビシャスカレンダー(早寝早起き朝ごはん)		139人(小郡幼稚園)
			家庭教育支援リーフレット印刷		新小1・新中1に配布
	青少年教育事業	11千円	ジュニア研修会(夏季・冬季)		57名
			ちくご子どもキャンパス事業(3回)		65名
			子ども会育成会研修会		46名
【施策の評価】 ようこそ赤ちゃん教室での子育て講話を通じて、子どもの発達段階に応じた家庭教育に関する啓発ができた。青少年教育事業では、青少年育成団体と連携して子ども達に体験活動の場を提供することができた。 本事業は、様々な活動を実際に「体験」することが重要と考えており、感染症対策を徹底しながら事業を実施していく必要がある。 今後も、地域や様々な団体と連携し、体験活動の場を提供していく。					

青少年人材育成事業					子ども育成課
総額	財源内訳				
	国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
3,500				3,500	
【施策の目的】 自然体験活動や講話、企業訪問といったプログラムを通じて、志(夢や願い)を立て、主体性(様々な場面で自分の意見を堂々と述べる力)や協調性を養い、予測困難な社会の変化の中で難しい社会問題に取り組むことができる青少年の人材育成を図る。					
【施策の実施】 対象者：10歳～15歳の児童 16人 内容：全20講座(自然体験活動2回、講話5回、企業訪問等5回、スピーチコンテスト2回ほか)					
【施策の評価】 子どもたちは、自然体験活動などの合宿を通じて、異年齢の集団生活の中で自分の考えを持ち、また他者の意見を聞くことで、様々な考え方を身に付け、仲間との協調性、困難な問題を他人と力を合わせて解決する力を学ぶことができた。 また、実際に社会で活躍する方々の講話や企業訪問では、どのような目標を立て、その目標に向けてどのように努力しているのかを学ぶことができた。これらで学んだことは、レポートやスピーチコンテスト等の機会で自分の意見として発表し、主体性を養うことができた。 今後も、予測困難な社会の中で、自分の夢や志をしっかりと描き、それに向かって主体的に行動することができる人材を継続して育成していく。					

社会教育関連講座開設事業(各教育事業)					生涯学習課
総額	財源内訳				
	国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
1,710				773	937
【施策の目的】 個人のニーズや地域の課題に対応するため、市民に多様な学習の場を提供することにより、自主的な活動を推進し、かつ、人間形成の向上を図るもの。					
【施策の実施及び施策額の内訳】					
	内訳	報償費 (単位:円)	講座数	講座等回数(延べ) (単位:回)	参加者数(延べ) (単位:人)
	成人教育事業	774,400	5	87	1,078
	女性教育事業	649,100	7	38	521
	高齢者等はつらつ教育事業	285,700	5	108	1,346
	合計	1,709,200	17	233	2,945

【施策の評価】

- ①前年度との比較や進捗状況:令和4年度はウィズコロナという考えのもと、感染対策を行うことで令和3年度を上回る数の講座を開講でき、参加者数も増加した。
- ②課題や施策を進めるうえでの留意点等:アフターコロナや時代の変化に適応した講座の開講が必要である。
- ③今後の見直し点や方針等:市民のニーズにあった多様な学習の場を提供し、事業を展開していく。

生涯学習センター施設整備事業(生涯学習センター管理費)

生涯学習課

総 額	財 源 内 訳				
	国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
2,247					2,247

【施策の目的】

平成5年に七夕会館として開館し、平成15年より生涯学習センターとして多くの方に利用されているが、年数も経過し、建物・設備ともに老朽化が進んでいる。利用者に安全・快適な学習環境を提供するため、施設整備を行うもの。

【施策の実施及び施策額の内訳】

修繕料

内 訳	金額(円)
駐輪場屋根修繕	595,100
消防設備修繕	551,100
非常用発電機バッテリー修繕	536,800
リチウムイオン蓄電システム修繕	385,000
その他修繕	178,090
合計	2,246,090

【施策の評価】

- ①前年度との比較や進捗状況:使用期限が定められた消防設備の更新・修繕や、特に緊急的に修繕を要するものについて設備整備を行った。
- ②課題や施策を進めるうえでの留意点等:故障の程度によっては施設の一部が利用できない場合もあるため、できるだけ利用者への影響が少なくなるよう配慮を行った。
- ③今後の見直し点や方針等:建物・設備ともに経年劣化が進んでいるので、大きな故障を未然に防ぐためにも、より計画的な施設整備に努めていく。

文化関連補助金(文化振興費)

生涯学習課

総 額	財 源 内 訳				
	国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
4,953	2,427	109			2,417

【施策の目的】

地域における文化関係団体等の自主的活動の促進を支援し、地域社会の文化活動向上を図るための助成を行う。

【施策の実施】

○令和4年度の公演・展示等の催物

5/29	演劇「ないた赤おに」	文化会館大ホール	入場者数 188人
6/5	演芸「浪曲と落語の世界」	文化会館大ホール	入場者数 182人
6/11	安武玄晃コンサート「リスタート」	文化会館大ホール	入場者数 310人
7/10	午後2時コンサート「夏空コンサート」	文化会館小ホール	入場者数 64人
9/11	NHK「ロッチと子羊」公開録画収録	文化会館大ホール	入場者数 218人
9/24	小郡市文化協会50周年記念式典 ” 記念事業 葛西聖司講演会	文化会館大ホール	入場者数 70人
9/24～26	第14回おごおり芸術祭	文化会館大ホール	入場者数 216人
11/12、13	第33回小郡市民文化祭 (出演者621人、出展数163点)	文化会館および生涯学習センター	入場者数 1,603人
1/14、15	小郡名画座	文化会館大ホール	入場者数 のべ513人
2/12	第29回ハーモニーinおごおり	文化会館大ホール	入場者数 約650人
3/5	宝くじ文化公演「由紀さおり名曲歌酔い コンサート」	文化会館大ホール	入場者数 574人
3/22	トルコ・シリア大地震チャリティコンサート「アクロス福岡弦楽合奏団小郡公演」	文化会館大ホール	入場者数 360人

【施策額の内訳】

内訳	金額(円)
文化協会育成費補助金	422,000
市民文化祭補助金	801,000
小郡音楽祭実行委員会補助金	262,000
自主文化事業補助金	3,368,000
文化団体等各種大会出場補助金	100,000
合計	4,953,000

【施策の評価】

- ①前年度との比較や進捗状況:新型コロナウイルス感染症拡大防止のため自粛していた文化事業を2年ぶりに実践開催することができ、文化活動に少しずつ活気が戻ってきた。
- ②課題や施策を進めるうえでの留意点等:ウィズコロナの取り組みとして、出演者や来場者に感染症予防対策に協力してもらい、催物を安全に開催できるよう心掛けた。
- ③今後の見直し点や方針等:2年間の自粛により文化活動が停滞し、関わる人も減少しているため、コロナ以前の活気が取り戻せるように魅力ある事業を企画検討していく。

文化会館施設整備事業(文化会館管理費)

生涯学習課

総 額	財 源 内 訳				
	国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
16,286			3,900		12,386

【施策の目的】

令和4年度で開館35年となった文化会館の老朽化した施設や設備の更新を年次的に行うことで、安心・安全で快適な文化環境を確保するもの。

【施策の実施及び施策額の内訳】

(1)修繕料および工事請負費

内訳	金額(円)
文化会館外灯及び小ホール照明改修工事	4,391,200
緞帳ワイヤー修繕	1,287,000
非常用発電機部品交換	1,166,000
主催者事務所・図書館応接室空調機更新	913,000
屋内消火栓設備埋設配管漏水修繕	858,000
避難誘導灯交換修繕	742,500
文化会館PAS交換修繕	649,000
図書館開架室空調設備修繕	583,000
その他修繕	875,930
合計	11,465,630

(2)備品購入費

内訳	金額(円)
プロジェクター一式	2,609,200
ワイヤレスマイク、受信機、分配器一式	1,429,780
マイク付きヘッドホン(ヘッドセット)	379,500
集音マイク	132,396
その他買替備品	268,918
合計	4,819,794

【施策の評価】

- ①前年度との比較や進捗状況:令和4年度は、老朽化していた外灯の改修工事や電波法関連規則の改正に伴うワイヤレスマイクの更新など予定していた改修・更新の他に、定期点検で見つかった設備の不具合や機器の故障などで緊急対応が必要なケースが多かった。
- ②課題や施策を進めるうえでの留意点等:建物や設備の経年劣化により様々な故障や不具合が発生しているが、会館利用者にとっては全ての催物が中止できない大切な利用であることを念頭に、安全に安心して利用してもらえよう早めの対応を心掛けたい。
- ③今後の見直し点や方針等:小郡市個別施設計画(長寿命化計画)では、施設を80年使用することを目標に予防保全的な維持管理を行うこととしているが、これには劇場の固有設備である舞台機構設備や舞台照明設備、舞台音響設備の更新計画が含まれていない。こうした設備の改修にも多額の費用がかかるため、建物設備の更新と合わせて改修計画の見直しを行う。

ブックスタート事業(図書館管理費)	生涯学習課(図書課)
--------------------------	-------------------

総 額	財 源 内 訳				
	国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
747					747

【施策の目的】
 幼児期の早い時期に本(絵本)と出会う機会を提供し、絵本を通じたスキンシップで親子のきずなを深めるとともに、家庭での読書環境づくりを支援していく。

【施策の実施】

- ・ 生後10か月の乳幼児健診時にスタッフが事業概要と読み聞かせの大切さを説明するとともに、NPOブックスタートから無償で提供されている紙袋、図書課で作成した絵本リスト及び購入した選定絵本2冊・アドバイスブックレットを記念品として手渡した。
- ・ R4年度 ブックスタート実施者 367組
- ・ ブックスタートのフォローアップとして、「あかちゃんえほんコーナー」の設置、絵本パックの貸出などを行い、赤ちゃんと保護者が絵本を楽しむ環境を提供した。

【施策額の内訳】
 記念品代(絵本、アドバイスブックレット) 663千円
 ブックスタート関係補助職員報酬・費用弁償 84千円

【施策の評価】

①前年度との比較や進捗状況:ブックスタート実施者は、令和3年度408組から令和4年度367組に減少したが、対象者の割合では、令和3年度95.3%から令和4年度98.7%へと高くなった。

②課題や施策を進めるうえでの留意点等:家庭内での家読(うちどく)の関心の高さに差があることが感じられることから、引き続き絵本を通じた親子のコミュニケーションづくりにつながる働きかけが必要である。

③今後の見直し点や方針等:単なる絵本の配付ではなく、家庭で絵本の読み聞かせをする“きっかけづくり”になり、家読推進の基礎となるよう、取り組んでいく。

野田宇太郎文学資料館事業(図書館管理費)	生涯学習課(図書課)
-----------------------------	-------------------

総 額	財 源 内 訳				
	国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
534	69				465

【施策の目的】
 資料のデータ化と保存処理を完了させ、市民の貴重な財産として活用・公開を目指す。また、常設展示や企画展示を充実させて、野田宇太郎氏の功績をPRしていく。

【施策の実施】

- ・ クローズアップ企画展「野田宇太郎と藤村記念堂」(会期:令和5年1月12日～令和5年4月18日)
- ・ クローズアップ企画展関連行事「宇太郎カフェ」(共催:野田宇太郎顕彰会)を行い、参加者に野田宇太郎氏が好きだったコーヒーを楽しんでもらいながら、当館職員による企画展の解説を行った。
- ・ 常設展テーマ展示 年4回
- ・ 野田宇太郎文学資料館収蔵品データベース管理システムを使用して、資料館が所有する収蔵品のデータ管理や情報整理を効率的に行った。さらにシステムの収蔵品情報公開機能を活用し、野田宇太郎文学資料館ホームページにて、デジタル化した資料の一部を公開した。

【施策額の内訳】
 企画展展示パネル作成及びポスターチラシ印刷委託料 138千円
 野田宇太郎文学資料館収蔵品データベース管理システム賃貸借料 396千円

【施策の評価】

①前年度との比較や進捗状況:クローズアップ企画展や講演会の実施、収蔵品データベース管理システムの機能を使った自筆原稿のデジタル展示を行うなどの資料公開により、野田宇太郎氏の功績をPRすることができた。

②課題や施策を進めるうえでの留意点等:野田宇太郎氏の功績を広めるため、小郡市内や福岡県内にとどまらない、全国へ向けたPRをしていく必要がある。

③今後の見直し点や方針等:ホームページやシステムの更新の回数を増やし、野田宇太郎や所蔵資料についての情報を発信するとともに、全国の文学館を通じて企画展等の情報を発信することで全国へ野田宇太郎の名前を広げる。

「子ども読書」の街づくり推進事業					生涯学習課(図書課)
総額	財源内訳				
	国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
506					506
【施策の目的】					
子どもに読書の魅力を伝え、読書意欲を向上させることを目的とし、学校・地域・家庭が一体となって子どもたちの読書活動を支えていく。					
【施策の実施】					
<ul style="list-style-type: none"> ・「子ども読書の日」記念事業で絵本の読み聞かせを行った。また、給食のメニューに関連した本やおすすめの本を掲載したリーフレットを配付し、家庭にも「子ども読書の日」の取組の趣旨を伝え、家読の啓発に努めた。 ・図書館で作成した『家読におすすめのブックリスト』に掲載された本を展示した「家読」コーナーを引き続き常設展示した。 ・市内小中学校において授業や図書委員会活動で本の紹介を行う「POP制作講座」を行い、子どもの読書への関心・興味を育むよう読書推進の取組を支援した。また、外部団体が主催するPOPコンクールに参加した。 ・小郡市にゆかりのある直木賞作家の東山彰良氏の家読推進講演会を実施した。新型コロナの影響が心配されたが、193名の参加者があった。 ・小郡市保育協会事業「絵本キャラバン」で未就園児の保護者に対して絵本の紹介や選書の相談に応じ、乳幼児への絵本の楽しみ方等を伝え、家庭での読み聞かせ支援を行った。 					
【施策額の内訳】					
講師謝金等 404千円					
手話通訳・コーディネーター謝金 40千円					
印刷製本費等 62千円					
【施策の評価】					
①前年度との比較や進捗状況:市制施行50周年事業として、東山彰良氏による「読書の街づくり」家読推進講演会を実施することができた。					
②課題や施策を進めるうえでの留意点等:講座や行事が開催できるようにはなったが、新型コロナの感染が拡大した時期があったため十分な読書支援ができなかった。					
③今後の見直し点や方針等:家読の目的意義を広く伝え、取組を支援するために、家読推進のためのボランティアを養成するとともに、学校・保育所等との連携を深め、子どもの読書支援につなげていく。					
文化財関係団体育成(文化財保護費)					文化財課
総額	財源内訳				
	国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
10,735	4,944				5,791
【施策の目的】					
市内の文化財保護を進めるため、その保護に関わる文化財関係団体に対し、活動を助成し、育成することを目的とするほか、文化財整備の情報収集のため、全国及び九州地区の文化財保存整備協議会へ参加する。また、市内文化財の保存・管理・活用のため、NPO法人との協働事業を実施する。					
【施策の実施】					
各文化財関係団体の文化財保護・普及活動に対して補助金を交付し、協議会には負担金を支払った。また、NPO法人に市内史跡等の管理委託を行い、適正・有効な活動の指導・助言及び協働事業を行った。					
【施策額の内訳】					
・補助金					
1)小郡市郷土史研究会 76千円					
2)福童將軍藤保存会 160千円					
3)高卒都婆保存会 61千円					
4)名馬池月の塚保存会 39千円					
5)小郡・大刀洗地域文化観光事業実行委員会 150千円					
6)稲吉老松神社天神信仰資料保存会 160千円					
計 646千円					
・協議会等負担金					
1)全国史跡整備市町村協議会負担金 40千円					
2)九州文化財保存整備協議会負担金 10千円					
3)福岡県市町村文化財保存整備協議会負担金 20千円					
4)北筑後文化財行政連絡協議会負担金 10千円					
5)全国公立埋蔵文化財センター連絡協議会負担金 20千円					
6)南北朝・菊池一族歴史街道推進連絡協議会負担金 100千円					
計 200千円					
・委託料					
NPO法人文化財保存工学研究室 9,889千円					

【施策の評価】

市内文化財関係団体やNPO法人とともに、文化財の保存・管理と啓発活動を協働して進めることができた。各種協議会では、令和4年度より活動が再開されており、各種課題解決のための情報共有を進めた。

文化財発掘調査・重要遺跡調査事業

文化財課

総 額	財 源 内 訳				
	国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
7,244	1,520	300		9	5,415

【施策の目的】

市内の埋蔵文化財の保護のため、開発に対する事前審査・試掘調査を行い、遺跡に影響が及ぶ開発については発掘調査を実施する。

【施策の実施】

- ・窓口(電話・FAX対応を含む)における開発に対する指導 年間約500件
- ・書面による事前審査対応件数 170件
- ・現地で試掘調査を行った件数 57件
- ・重要遺跡確認調査及び個人住宅建築に伴う発掘調査を行った遺跡 3件

【施策額の内訳】

<6目 文化財発掘調査費>

- ・試掘調査(事前審査を含む)
 - 1)各種定例業務 3,742千円
 - 2)システム保守点検委託料 264千円
- 計 4,006千円
- ・重要遺跡調査事業 3,043千円
 - 1)三沢南崎遺跡6(個人住宅) 発掘調査
 - 2)三沢南崎遺跡7(個人住宅) 発掘調査
 - 3)福童内畑遺跡2(個人住宅) 発掘調査
 - 4)花立山古墳群(重要遺跡) 古墳測量調査・整理作業
 - 5)津古内畑遺跡(再整理) 整理作業および報告書作成
- ・横隈山古墳2 整理作業および報告書作成 195千円

【施策の評価】

民間・公共の開発、個人住宅建設などに対する事前審査、その後の発掘調査に迅速に対応することができた。また、公共事業に伴う発掘調査の整理作業、報告書作成を行った。なお、開発に伴う市内の発掘調査は急激に増加しており、体制整備を進める必要がある。

文化財発掘受託調査事業

文化財課

総 額	財 源 内 訳				
	国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
159,323				159,323	

【施策の目的】

民間業者が行う開発に際し、事前に文化財発掘調査を実施し、記録保存を行う。

【施策の実施】

- ・民間の開発により緊急に発掘調査を実施した遺跡 8遺跡
- ・前年度までに発掘調査を終了し、出土遺物の整理・報告書作成を行った遺跡 6遺跡

【施策額の内訳】

<7目 文化財発掘受託調査費>

- ・緊急調査
 - 1)小板井屋敷遺跡6 緊急発掘調査 767 千円
 - 2)大板井遺跡31 緊急発掘調査 1,634 千円
 - 3)大板井遺跡32 緊急発掘調査 2,133 千円
 - 4)福童石橋遺跡2 緊急発掘調査 691 千円
 - 5)大崎小園遺跡5 緊急発掘調査 508 千円
 - 6)福童内畑遺跡 整理・報告書作成 1,339 千円
 - 7)横隈上ノ原上遺跡6 整理・報告書作成 1,388 千円
 - 8)埋蔵文化財調査基金積立金 8,657 千円
- 計 17,117 千円
- ・干潟猿山遺跡3 現地発掘調査・整理 15,015 千円
- ・小郡中尾遺跡3 整理・報告書作成 11,921 千円
- ・小板井屋敷遺跡10 整理・報告書作成 835 千円
- ・三沢権道遺跡6 整理・報告書作成 1,869 千円
- ・大板井遺跡30 整理・報告書作成 4,566 千円
- ・福童石橋遺跡 現地発掘調査 19,800 千円
- ・松崎新堀遺跡 現地発掘調査 88,200 千円
- 計 142,206 千円

【施策の評価】

民間開発に先立つ埋蔵文化財の発掘調査8件と、記録及び出土資料の整理を円滑に行うことができた。特に、干潟猿山遺跡3は流通倉庫建設に伴う大規模調査で、令和4年度も継続して多くの職員が専従して調査を進めた。他にも中小規模の調査が多く、組織全体で調整して対応した。

史跡等総合活用支援推進事業

文化財課

総 額	財 源 内 訳				
	国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
3,293	1,628			4	1,661

【施策の目的】

埋蔵文化財発掘調査によって出土した文化財を適正に保存・管理し、その公開・活用を行うことで社会教育・学校教育に役立てることを目的とする。

【施策の実施】

- ・体験学習等開催事業
 - 1) 体験学習講座
石庖丁、勾玉、印鑑等を作る講座を計8回実施(参加者226名※定員制)
 - 2) 特別展示会
『小郡50年展』を埋文センター展示室で開催し、記念トークイベントを七夕ホールで実施した(参加者87名)。
- ・広報資料作成事業
広報資料として、市文化財紹介リーフレット「横隈山古墳」(3,000枚)を作成した。
- ・台帳作成等事業
国指定史跡小郡官衙遺跡群上岩田遺跡出土資料の台帳化及びデータ化を実施し、一部資料のホームページでの公開を実施した。

【施策額の内訳】

・体験学習等開催事業	1,705 千円
・広報資料作成事業	263 千円
・台帳作成等事業	1,325 千円
計	3,293 千円

【施策の評価】

市民を対象とした古代体験や考古学講座を通し郷土の歴史を広く周知する事業である。令和4年度も新型コロナウイルス感染拡大防止策を講じて実施したが、いずれも定員を満了する参加者があった。また、再整理した各種基礎資料は、広報資料やインターネット上での公開を進めているが、資料数が膨大であり、今後の取り組みの継続と情報発信方法の検討が必要である。

地域おこし協力隊活動事業(文化財活用事業費)

文化財課

総 額	財 源 内 訳				
	国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
1,577					1,577

【施策の目的】

地域おこし協力隊(古建築活用プランナー)1名を雇用し、市内の文化財活用を進める。平田家住宅や旅籠油屋を中心とした市内の古建築を様々な方法で活用することを通して、市内外へ小郡市の魅力や歴史文化の豊かさを発信する。

【施策の実施】

地域おこし協力隊が中心となり、市内古建築や文化財の魅力の周知に取り組んだ。コロナ禍でイベント開催が難しい状況で、①多言語での情報発信(文化財紹介資料・HPの英訳)、②松崎宿紙芝居の作成(令和3・4年度)、および上演イベント(令和4年度)、③コミュニティセンターと協力しての講座開催などを行った。市内古建築や文化財の魅力調査を進めながら、地域とのつながりを構築した。

【施策額の内訳】

1) 委託料(紙芝居製作)	426千円	
2) 活動費等	1,151千円	
計	1,577千円	* 特別交付税の対象

【施策の評価】

新型コロナウイルスの影響により、活動は限定的であったが、古建築を活用するための材料として、紙芝居の制作および旧松崎旅籠油屋でのイベント開催を行うことができた。古建築を活用したイベントが開催できたことで、今後はイベント数の増加、市内古建築の周知など、更なる事業展開が期待できる。

10款 教育費 7項 保健体育費

(単位:千円)

スポーツ振興事業費補助金		スポーツ振興課			
総 額	財 源 内 訳				
	国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
23,960					23,960
<p>【施策の目的】 各種団体等のスポーツ活動に助成を行うことで、体力向上や団体育成を図ることを目的とする。</p> <p>【施策額の内訳】 (1)小郡市スポーツ協会補助金 22,948千円 (2)大会出場補助金 452千円 (3)小郡市スポーツ推進事業交付金 560千円</p> <p>【施策の評価】 新型コロナウイルス感染症対策を実施しながら、スポーツ行事を再開した。 スポーツ協会補助金については、スポーツ協会の自主財源の確保に向け、協会と市で協議を行い、スポーツ協会の自主自立を目指す。 大会出場費補助金及びスポーツ推進事業交付金については、今後も引き続き助成を行いスポーツ推進を図る。</p>					
スポーツ行事開催事業		スポーツ振興課			
総 額	財 源 内 訳				
	国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
1,016					1,016
<p>【施策の目的】 スポーツは、爽快感・達成感・連帯感や楽しさ・喜びをもたらす、また、体力の向上、精神的なストレス発散、生活習慣病の予防など、心身の両面にわたる健康の保持増進に資するものであり、この事業の推進により、青少年の健全育成、地域の連帯感の醸成、更には、市民生活をより豊かに明るく活気に満ちた地域社会の形成へと導く。</p> <p>【施策の実施事業】 (1)スポーツフェスタ in o50ri(おごおり) 10月8日(土) ペタンク(市体育館)55人参加、モルック(市野球場)64人参加 10月9日(日) グラウンド・ゴルフ(運動公園多目的広場)75人参加、リレー(市陸上競技場)79人参加 (2)第5回おごおり駅伝 1月9日(日) 46チーム、312人参加 (3)県民スポーツ大会 県内4地区の輪番制で筑後地区が令和4年度大会を担当した。 小郡市は、競技種目のうち陸上競技を秋季大会の9月25日(日)小郡市陸上競技場で実施した。 陸上競技の参加者数合計445人、うち小郡市民の陸上競技参加者数16人 ①夏季大会 8月21日(日) ②秋季大会 9月24日(土)、25日(日) ③駅伝 11月20日(日) 上記3大会の小郡市民の大会参加者数合計:139人 (4)地域スポーツの推進 スポーツ推進委員が地域スポーツ行事の支援を行った。 活動実績:17行事(まちづくり協議会 計1,249人参加など)、支援数延べ47回</p> <p>【施策額の内訳】 (1)報酬 908千円 (2)報償費 108千円</p> <p>【施策の評価】 新型コロナウイルス感染症対策を実施しながら、スポーツ行事を再開した。 市民が気軽に参加できるスポーツ行事を開催する。 地域スポーツ推進のため、スポーツ推進委員を地域に派遣し、地域活動を支援する。</p>					

クロスロードスポーツレクリエーション運営費					スポーツ振興課
総 額	財 源 内 訳				
	国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
346					346
<p>【施策の目的】 久留米市・鳥栖市・基山町・小郡市の住民がスポーツを通じて交流を図ること及び市民の健康増進と体力向上を図ることを目的とする。</p> <p>【施策の実施事業】 第32回クロスロードスポーツ・レクリエーション祭 参加者:小郡市合計 46人、4自治体合計 286人 11月13日(日) 小郡市、久留米市、鳥栖市、基山町の4自治体が各1種目を開催 ①ペタンク:小郡市体育館 77人参加 ②ターゲットバードゴルフ:久留米市南部浄化センター東広場 60人参加 ③ラージボール卓球:基山町総合体育館 81人参加 ④ワンバウンドふらばーるボールバレー:鳥栖市民体育館 68人参加</p> <p>【施策額の内訳】 (1)報償費 46千円 (2)負担金 300千円</p> <p>【施策の評価】 新型コロナウイルス感染症対策をとりながら、4自治体での開催を実施した。 住民の交流及び健康づくりを図ることができた。</p>					
小郡市新体育館建設基本計画改定業務委託					スポーツ振興課
総 額	財 源 内 訳				
	国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
2,183				2,183	
<p>【施策の目的】 平成28年度に策定した「小郡市新体育館建設基本計画」について、市の財政状況や、近年の災害発生状況を踏まえて、基本コンセプトや施設規模等の見直し、防災機能の付加等の検討が必要となったことから、基本計画を改定することを目的とする。</p> <p>【施策の実施】 件 名 小郡市新体育館建設基本計画改定業務委託 業務期間 令和4年12月1日～令和5年3月31日 実施内容 基本コンセプトの見直し 整備基本方針の検討 建設候補地の諸元整理 事業費及び財源の検討 他</p> <p>【施策額の内訳】 支出 小郡市新体育館建設基本計画改定業務委託 2,183千円 収入 まちづくり支援基金繰入金 183千円 企業版ふるさと納税寄付金 2,000千円</p> <p>【施策の評価】 小郡市新体育館建設基本計画を改定したことにより、新体育館の基本コンセプトを「市民が活動の主体となる体育館」とし、整備方針の検討や建設候補地の諸元整理を行い、事業費及び財源の検討を行った。 大規模な事業であり、市民や議会等の関心も高いことから、基本計画の改定内容等について、丁寧に説明していきながら建設に向けて事業を進めていく。</p>					

学校給食配食事業(学校給食センター管理費)					教育総務課																																																							
総 額	財 源 内 訳																																																											
	国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源																																																							
55,723					55,723																																																							
<p>【施策の目的】</p> <p>生涯を通じて健康に過ごすための食生活について理解を深め、成長期にある生徒の健康の保持増進と体位の向上のため、栄養のバランスがとれており、かつ「安全・安心」である学校給食を提供する。また、日本各地の郷土料理の提供や地場産野菜を使用するなどの工夫を行い、学校給食を通じての食育の推進を図る。</p> <p>【施策の実施】</p> <p>中学校5校、総数1,809名に対し、年間給食日数中学校197日、総給食数(教職員含む)約 35万6千食の配食を行った。</p> <p>【施策額の内訳】</p> <table border="0" style="width:100%;"> <tr> <td style="width:20%;">委託料</td> <td style="width:40%;">施設保守及び給食運搬等</td> <td style="width:20%; text-align:right;">13,999 千円</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>需用費</td> <td>衛生消毒用品、燃料費、電気、ガス、水道代他、調理器具等修繕</td> <td style="text-align:right;">22,235 千円</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>備品購入費</td> <td>調理用備品(食缶・炊飯器等)等</td> <td style="text-align:right;">5,243 千円</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>役務費</td> <td>手数料(細菌検査、食品検査)、通信費等</td> <td style="text-align:right;">1,568 千円</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>共済費</td> <td>パートタイム会計年度任用職員労災保険料等</td> <td style="text-align:right;">203 千円</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>報酬</td> <td>パートタイム会計年度任用職員報酬及び小郡市学校給食運営委員会委員報酬等</td> <td style="text-align:right;">11,908 千円</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>旅費</td> <td>費用弁償</td> <td style="text-align:right;">240 千円</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>使用料及賃借料</td> <td>複合機賃借料等</td> <td style="text-align:right;">251 千円</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>負担金、補助及び交付金</td> <td>学校給食共同調理場連絡協議会等負担金</td> <td style="text-align:right;">10 千円</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td>学校栄養士会負担金</td> <td style="text-align:right;">66 千円</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td style="text-align:center;">合 計</td> <td style="text-align:right;">55,723 千円</td> <td></td> <td style="text-align:right;">計 76 千円</td> </tr> </table> <p>【施策の評価】</p> <p>令和4年度は新型コロナウイルス感染症の影響も少なくなり、徐々にコロナ前の日常を取り戻しながらの学校給食の提供となった。学校給食の提供においては、感染症に留意するとともに、衛生管理を厳守し、事故等なく、「安全・安心」な学校給食の提供ができた。また、郷土料理の提供や地場産野菜の使用を行うことで、様々な地域の食や地元農産物に興味を持つきっかけとなる学校給食の提供を行うことができた。</p> <p>【令和4年度に提供した郷土料理:筑前煮(4月)、芋炊き(10月)、せんべい汁(11月)、仙台麩井(1月)など】</p> <p>【令和4年度地場産野菜・果物使用率20.7%(重量ベース)】</p>						委託料	施設保守及び給食運搬等	13,999 千円			需用費	衛生消毒用品、燃料費、電気、ガス、水道代他、調理器具等修繕	22,235 千円			備品購入費	調理用備品(食缶・炊飯器等)等	5,243 千円			役務費	手数料(細菌検査、食品検査)、通信費等	1,568 千円			共済費	パートタイム会計年度任用職員労災保険料等	203 千円			報酬	パートタイム会計年度任用職員報酬及び小郡市学校給食運営委員会委員報酬等	11,908 千円			旅費	費用弁償	240 千円			使用料及賃借料	複合機賃借料等	251 千円			負担金、補助及び交付金	学校給食共同調理場連絡協議会等負担金	10 千円				学校栄養士会負担金	66 千円				合 計	55,723 千円		計 76 千円
委託料	施設保守及び給食運搬等	13,999 千円																																																										
需用費	衛生消毒用品、燃料費、電気、ガス、水道代他、調理器具等修繕	22,235 千円																																																										
備品購入費	調理用備品(食缶・炊飯器等)等	5,243 千円																																																										
役務費	手数料(細菌検査、食品検査)、通信費等	1,568 千円																																																										
共済費	パートタイム会計年度任用職員労災保険料等	203 千円																																																										
報酬	パートタイム会計年度任用職員報酬及び小郡市学校給食運営委員会委員報酬等	11,908 千円																																																										
旅費	費用弁償	240 千円																																																										
使用料及賃借料	複合機賃借料等	251 千円																																																										
負担金、補助及び交付金	学校給食共同調理場連絡協議会等負担金	10 千円																																																										
	学校栄養士会負担金	66 千円																																																										
	合 計	55,723 千円		計 76 千円																																																								
新学校給食センター整備事業(学校給食センター管理費)					教育総務課																																																							
総 額	財 源 内 訳																																																											
	国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源																																																							
2,990				2,990																																																								
<p>【施策の目的】</p> <p>現在の学校給食センターは築50年を経過し、老朽化が進んでおり、効率的な調理業務の運営を進める上で多くの課題が生じてきているため、新たに学校給食センターを整備し、「安全・安心」な学校給食の提供を行っていく。</p> <p>【施策の実施】</p> <p>新たな学校給食センターをPFI方式により整備するための事業者選定に向けて、事業支援を受けるためのアドバイザー契約を締結し、事業者選定のための準備を開始した。(契約期間:令和4年度～令和6年度)</p> <p>【施策額の内訳】</p> <table border="1" style="width:100%;"> <thead> <tr> <th rowspan="2">項目</th> <th rowspan="2">3年間の合計額 R4～R6</th> <th>令和4年度</th> <th>令和5年度</th> <th>令和6年度</th> </tr> <tr> <th>決算額</th> <th>予算額</th> <th>予算額</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>事業者選定支援業務委託料</td> <td>19,699,800</td> <td>2,989,800</td> <td>11,460,000</td> <td>5,250,000</td> </tr> </tbody> </table> <p>2,990 千円</p> <p>【施策の評価】</p> <p>令和4年度よりPFI方式による給食センターの整備運営事業の事業者選定準備を開始した。令和6年度までの期間で、事業内容の最終確定、実施事業者の選定を実施していく。</p>						項目	3年間の合計額 R4～R6	令和4年度	令和5年度	令和6年度	決算額	予算額	予算額	事業者選定支援業務委託料	19,699,800	2,989,800	11,460,000	5,250,000																																										
項目	3年間の合計額 R4～R6	令和4年度	令和5年度	令和6年度																																																								
		決算額	予算額	予算額																																																								
事業者選定支援業務委託料	19,699,800	2,989,800	11,460,000	5,250,000																																																								

学校給食補助事業(学校給食センター管理費)

教育総務課

総 額	財 源 内 訳				
	国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
21,805	21,013				792

【施策の目的】

新型コロナウイルス感染症等の影響による物価高騰により、給食食材の価格が高騰しているなかで、保護者に負担を強いることなく、献立の内容と質を確保しながら学校給食の充実を図る。

【施策の実施】

給食食材の価格高騰に対応するため、各学校に対して給食補助金の交付を行った。

【国庫支出金】

地方創生臨時交付金 21,013千円

【施策額の内訳】

小学校			中学校		
学校名	人員数	補助金額	学校名	人員数	補助金額
味坂小学校	126	467,712	宝城中学校	139	600,936
小郡小学校	817	3,025,680	大原中学校	340	1,457,064
御原小学校	235	860,832	立石中学校	95	411,208
立石小学校	151	554,736	三国中学校	822	3,534,664
三国小学校	1,060	3,918,096	小郡中学校	413	1,770,272
大原小学校	441	1,624,560	中学校小計		7,774,144
東野小学校	330	1,218,672	合計		21,804,832
のぞみが丘小学校	637	2,360,400			
小学校小計		14,030,688			

【施策の評価】

①前年度との比較や進捗状況: 食材費高騰分の補助を実施し、児童生徒に必要な栄養(カロリー・たんぱく質・脂質・カルシウム等)を満たす給食を提供できた。

②課題や施策を進めるうえでの留意点等: 食材費の価格高騰が続いていることから引き続き補助を行っていく。(R4→R5臨時交付金を繰越して補助を行う)

③今後の見通し点や方針等: 十分な栄養を満たす給食を提供するために必要な食材の確保のため、給食費の改定を行う。また、国の異次元の子育て支援施策の一つである給食費無償化の動向に注視して予算確保の対策を検討する。

学校給食配食事業(8小学校自校式給食施設)

教育総務課

総 額	財 源 内 訳				
	国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
120,062					120,062

【施策の目的】

生涯を通じて健康に過ごすための食生活について理解を深め、成長期にある児童の健康の保持増進と体位の向上のため、栄養のバランスがとれており、かつ「安全・安心」である学校給食を提供する。また、郷土料理や地場産野菜を使用するなどの工夫を行い、学校給食を通じての食育の推進を図る。

【施策の実施】

市内8校の小学校の児童・教職員等3,797名に対し、年間給食日数193日、総給食数約73万3千食の配食を行った。

【味坂小学校給食施設管理費】

【施策額の内訳】

需用費	電気、ガス、水道代	1,248 千円
役務費	細菌検査手数料【再掲】	97 千円
委託料	殺鼠害虫駆除委託料【再掲】	19 千円
負担金	学校栄養士会負担金【再掲】	9 千円
合 計		1,373 千円

※再掲元: 学校給食配食事業(給食センター管理費)

【立石小学校給食施設管理費】

【施策額の内訳】

需用費	電気、ガス、水道代	1,499 千円
役務費	細菌検査手数料【再掲】	73 千円
委託料	殺鼠害虫駆除委託料【再掲】	19 千円
合 計		1,591 千円

※再掲元: 学校給食配食事業(給食センター管理費)

【御原小学校給食施設管理費】

【施策額の内訳】

需用費	電気、ガス、水道代	2,278 千円
役務費	細菌検査委託料【再掲】	73 千円
委託料	殺鼠害虫駆除委託料【再掲】	19 千円
合 計		2,370 千円

※再掲元: 学校給食配食事業(給食センター管理費)

【小郡小学校給食施設管理費】

【施策額の内訳】

需用費	電気、ガス、水道代	9,031 千円
役務費	細菌検査手数料【再掲】	24 千円
委託料	学校給食調理業務	22,000 千円
	殺鼠害虫駆除委託料【再掲】	19 千円
負担金	学校栄養士会負担金【再掲】	9 千円
合 計		31,083 千円

※再掲元: 学校給食配食事業(給食センター管理費)

【大原小学校給食施設管理費】

【施策額の内訳】

需用費	電気、ガス、水道代	4,421 千円
役務費	細菌検査委託料【再掲】	25 千円
委託料	学校給食調理業務	13,860 千円
	殺鼠害虫駆除委託料【再掲】	19 千円
負担金	学校栄養士会負担金【再掲】	9 千円
合 計		18,334 千円

※再掲元: 学校給食配食事業(給食センター管理費)

【東野小学校給食施設管理費】

【施策額の内訳】

需用費	電気、ガス、水道代	3,928 千円
役務費	細菌検査手数料【再掲】	144 千円
委託料	殺鼠害虫駆除手数料【再掲】	19 千円
負担金	学校栄養士会負担金【再掲】	11 千円
合 計		4,091 千円

※再掲元: 学校給食配食事業(給食センター管理費)

【三国小学校給食施設管理費】

【施策額の内訳】

需用費	電気、ガス、水道代	8,660 千円
役務費	細菌検査手数料【再掲】	27 千円
委託料	学校給食調理業務	26,347 千円
	殺鼠害虫駆除委託料【再掲】	19 千円
負担金	学校栄養士会負担金【再掲】	11 千円
合 計		35,064 千円

※再掲元: 学校給食配食事業(給食センター管理費)

【のぞみが丘小学校給食施設管理費】

【施策額の内訳】

需用費	電気、ガス、水道代	5,248 千円
役務費	細菌検査委託料【再掲】	24 千円
委託料	学校給食調理業務	20,856 千円
	殺鼠害虫駆除委託料【再掲】	19 千円
負担金	学校栄養士会負担金【再掲】	9 千円
合 計		26,156 千円

※再掲元: 学校給食配食事業(給食センター管理費)

【施策の評価】

令和4年度は新型コロナウイルス感染症の影響も徐々に少なくなり、コロナ前の日常を取り戻しながらの学校給食の提供となった。そのような中で、食中毒の防止を含め衛生管理を厳守し、「安全・安心」な学校給食の提供ができた。また、中学校給食と同様、各地の郷土料理の提供などを行い、児童が食に興味関心をもてるような学校給食の提供を行った。

【令和4年度地場産野菜・果物利用率(重量ベース)】

味坂小学校 30.7 %	立石小学校 34.4 %	御原小学校 30.3 %	小郡小学校 23.2 %
大原小学校 28.5 %	東野小学校 28.4 %	三国小学校 34.9 %	のぞみが丘小学校 19.7 %